☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 輝く地域の星となれ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

報道で見る氷上西高　２０１８

神戸新聞　平成３０年５月２１日（月）

氷上

丹波市在住の外国人と日本人
母国の味など紹介し親睦

丹波市在住の外国人と日本人が交流する催しがこのほど、同市氷上町本郷のゆめタウンポップアップホールで開かれた。氷上、氷上西高校のインターアクト部の生徒らもクイズを企画するなど運営に参加。互いの国について教え合った。

柏原ロータリークラブと同市国際交流協会が主催し、8回目。同協会によると市内には約850人の外国人が居住しており、催しにはベトナムやフィリピン、中国、韓国など10カ国以上の国を母国とする男女約70人と日本人約80人が参加した。

各国出身者は舞台に上がり、自慢の食べ物や有名人を紹介。「人気のある仕事は？」との質問には、フィリピンではコールセンター、中国では公務員などと国ごとの事情が浮かび上がった。ブラジル出身の女性はブラジル音楽に合わせたダンスを手ほどき。参加者全員で踊り、会場で陽気なリズムが刻まれた。

ベトナム出身のブイ・ティ・トウ・フウエンさん（28）＝同市山南町上滝＝は同市で働き始めて6年5カ月。ベトナムの風景を動画で流し、「せっかく日本に来たのでもっと交流したい」と話していた。（金　慶順）

ブラジル出身の女性がダンスを教え、参加者全員で踊った＝ポップアップホール